

フロンティア Frontier-21

福井法人会青年部会会報 フロンティア21

■第二十八回 法人会全国青年の集い「秋田大会」

■税務署長との懇談会

創立30周年記念増刊号

○30周年記念「海外視察研修旅行」

○記念講演会「西川のりお言語道断」

30th
anniversary

■真価塾 Part23

■福井県法人会青年部会連絡協議会研修会

■サマーフェスタ2014

■青年部会親睦ゴルフコンペ



第二十八回 法人会全国青年の集い「秋田大会」

平成二十六年十一月二十日(金)
秋田市の秋田県民会館に於いて、
「第二十八回 全国青年の集い秋田
大会」が開催されました。

我が福井法人会青年部会から
は高村会長をはじめとする総勢
六名と酒師専務理事が参加しま
した。

大会式典は、ヴァイオリン奏者
松尾沙樹氏のオープニング演奏に
始まり、阿部大助大会会長の歓
迎挨拶がありました。そこで語ら
れたのは、今回のスローガンである
「ユタカな国へ あきた美じょん」
のように新しい視点からの「ユタカ
さ」。ひとつは、経済的な側面で景
気が上向き、雇用が守られ、若年
層が安定して働き、先人の知恵・
技術を継承していくこと。もうひ
つは、心の側面で高齢者を敬い、
他人を思いやり、古来大切にされ
てきた美しい「三ツボンの風土・自
然」を子供たちに継承していくこ
とがこれからは必要なものではな
いかと話がありました。

記念講演では、読売新聞特別
編集委員 橋本五郎氏による「リ
ーダーはいかにあるべきか」「ユタカ
な国・美しい心をつなぐために」

という講演に会場は真剣に聞き入
っていました。

懇親会は、秋田キャッスルホテル
に会場を移動して行われました。
秋田県の特産物とお酒を楽しみ
ながら、各青年部会員の皆様と交

流を行い、楽しい賑やかな時間と
なりました。

次回の青年の集いは、茨城県
水戸市で開催されます。

(森下)



特別懇談会

税務署長との懇談会



平成二十六年十一月二十六日(水)
春山合同庁舎の福井税務署署長
室において、「福井税務署長との
懇談会」が行われました。福井税
務署長の山根裕様、法人課税第一
部門統括国税調査官の海道正美
様、法人課税部門連絡調査官の
坂本文子様のご出席をいただき、
当会からは高村会長を始め事務
局を含め九名出席いたしました。

自己紹介に続き、会長のあいさつ、
山根署長のお話の後、フリートー
クとなりました。

山根署長は福井県坂井市のご
出身で、四十年間のお勤め中に福
井は三回目ということでした。二十

六回もの転勤でほとんどが一、二年
の勤務。その中につつて一回目の福
井署勤務は五年間という長さで貴
重な経験とともに思い出深いとこ
ろだということでした。

我々が気になる税務調査につい
て次のようなお話をがありました。「
今だつたらどのような会社に調査
に行きますか?」との質問に対し、「
やはり利益を出していると思われ
る会社に行きます。特に今年は消
費税増税の駆け込み需要で売上が
上がったであろう業界、会社が候
補にあげられやすく、建築、土木?」
といった感じで、本当にざつくば
らんにお話くださいました。

また税務署職員のボリシートし
て、皆さんの大切なお金を預かる
という謙虚な気持ちと、国家財政
を担う資金を調達しているという
気持ちで仕事をしているというお
話や、社員教育の話、また二十八年
一月から始まるマイナンバー制度の
話など多岐に渡り、約一時間の懇談
会があつという間に終わりました。

最後に、「景気が悪い中、若い經
営者が頑張って地方を盛り上げて
ください。」とのエールをいただきま
した。

福井税務署の皆様、お忙しい中
貴重なお時間をいただきありがとうございました。
大変有意義な懇談会でした。

(大谷)



30周年
記念事業

福井法人会青年部会 創立三十周年記念視察研修旅行

フィリピン・マニラ2泊3日

この度の記念すべき、福井法人会青年部会創立三十周年の大きな節目を迎えたにあたり、平成二十六年九月四日から一泊三日の日程で、高村会長をはじめ総勢十名でフィリピン・マニラへの海外視察研修旅行が行われました。アジアの数ある国々の中で、今後、経済の成長

性がある注目すべき国への視察。なぜこれからフィリピンなのか? その答えは…。

視察一日目は、JETROマニラ事務所への訪問。現地駐在の日本人アドバイザーによるブリーフィングサービスを受け、フィリピンの経済情勢や近々の主幹産業、また、生

活習慣から物価水準などの一般的な経済事情などを詳しく説明して頂きました。参加した会員の皆さんからも興味深い事柄には質問も多く聞かれ、フィリピン経済の今後の成長性など、皆さん熱心に耳を傾けておられました。

二日目には、今回の視察研修のメイン、福井からフィリピンへ進出された企業への訪問。福井市市波町に本社を構えます株式会社日本エーワム・シーさんの現地法人、マニラA・M・C・マシナリーコーポレーション。マニラ中心部から南に車で一時ほどにあるラグナ市の工業団地の一角に、今年四月から工場を稼働。その真新しい工場では、福井からの幹部社員が駐在の下、現地採用の従業員らで、高圧配管用継手などを中心に製造販売をしています。継手とは、ショベルカーなどの産業用重機はもとより、自動車などの油圧系主要部品にも数多く使用されており、それらは重機や油圧機器などの油圧動力には絶対に欠かせない部品。人間の体で

例えますと手足の関節部分のようないい事で、現地法人 谷本社長様に工場内を案内して頂き、殆どの方が継手を初めて見る中、手に取れるほど近くまで身を乗り出しながら、興味津々に見学してしまいました。その後、事務所会議室に移りまして本社 高橋部長様からは、フ



た本社工場や海外の他工場らの概要と合わせながら説明をして頂きました。説明の中では前出の答えが見え始め、「こ」でも皆さん熱心に説明を聞かれていました。

経済や国の成長性に必要な物とは? 答えは人でした。そうです、人口なのです。少子高齢化が問題化されている日本も、人口の減少が経済を含めた国の成長性に関わる一番の課題。そんな中、フィリピンは

違いました。勿論、失業率や貧富格差など、先進国とは比べられない程さまざまな問題が山多

くあり、ASEAN主要国の中でも決してGDPは高い方ではないのですが、人口の年齢構成に将来性への鍵がありました。フ

ィリピンの場合、高齢者を頂点とし若者を底辺とした人口分布図は、若年層に厚みがあるバランスの良いピラミッド型。二十歳



未満の人工割合が全体の三十%以上、国民の平均年齢はなんと二十三歳(ちなみに日本は四十五歳ぐらい)。これは、生産性人口が豊富という事で、最も経済成長がしやすいと言われています。

今回の視察は、JETROでのブリーフィングと企業訪問の中で、自分の目で見、耳で聞き、感じたものを、今後のビジネスの役に立てようと、一人ひとりが何かを胸に秘める事が出来たかと思われます。二泊三日と短い時間で研修を共にする中、参加しました会員同士の親睦もより一層深まり、また、皆さん



のとても勉強熱心な姿勢を見ていましたと次を担う若い経営者らの力強さも感じられました。セブ島などリゾート地を除いて、普通ならなかなか行く機会もないフィリピンですが、参加しました私たちは、創立三十周年記念のとても貴重な視察研修をさせて頂きました。

(川口)



**福井法人会青年部会
会長あいさつ**

高村明彦



**福井税務署長
祝辞**

山根 裕



**福井法人会
会長あいさつ**

清川 忠



福井法人会青年部会は今年三十周年を迎えることができました。これもひとえに親会や、税務ご当局、さらには関係団体の皆さまのご支援ご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

福井法人会青年部会は昭和五十九年九月に創立して以来、「法人会員企業の若き経営者と後継者の仲間達で共に学び交友を深め相互研究と自己啓発をする」という設立趣旨のもと様々な地域貢献活動や租税教育活動を行ってまいりました。振り返ってみますとこの三十年の間に我が国を取り巻く環境も大きく変化してきています。バブル景気を謳歌した後は不良債権問題や長期のデフレ経済に苦しみ、超高齢化社会と少子化時代の到来による社会保障

この度、公益社団法人福井法人会青年部会が創立三十周年を迎えたことに、心からお祝い申し上げます。

貴部会におかれましては、昭和五十九年に創立されて以来これまで、各種研修会や講演会の開催を通じて自己啓発を図られるとともに、租税教育をはじめ、地域社会への貢献活動に積極的に取り組んでこられました。

特に、子供達を対象とした、「税金クイズ」による租税教育活動や、「親子ふれあいステージ」での地域社会貢献活動を通じて、次世代を担う子供達に税について考える機会を与えていただくななど、租税教育の充実に向けて大きな成果を上げていただいているところです。

青年部会におかれましては、創立三十周年を迎えられ誠におめでとうございます。三十周年記念事業として、漫才師の西川のりお氏の記念講演会が行われ、青年部会をはじめ多くの会員、女性部会、一般の方々を含め多くの参加があり大変有意義な事業であったと思っております。

また毎年継続事業として、小学生と保護者を対象にした税金クイズを「エニックス・プラザ」で実施し、大変公益性の高い事業を実施しております。研修事業として、県内で活躍している講師を招いて実施する真価塾を年三回開催し、経営者としての資質向上に取組んでおられます。継続は力なり。続けていくことも大きな業績の一つになるのではないだろうか。

費の財源や東日本大震災での原発事故に端を発したエネルギー調達の課題、さらには中国や東南アジア諸国との著しい発展により様々な軋轢なども顕在化してきています。我が国にとってはどれも大きな問題です。しかしながら時代がこようとも我々は常に前を向き、明るい未来に向かって頑張つていかねばなりません。時代の流れに素早く対応し変化でける柔軟性が我々には求められているのではないでしょうか。

法人会青年部会は租税教育活動と地域貢献活動を大きな活動の柱にしています。

これら社会貢献活動を通じて我々がこの社会や地域、そして未来を担う子供たちに対して何が出来るのか、これまで試行錯誤を繰り返しながら取り組んできました。これはこれから先も変わらない青年部会の活動指針だと思います。またその活動の中でこれからも会員相互の異業種交流が活発に行われていくのではないかでしょうか。三十周年事業としては海外企業視察研修と記念講演会を開催させていただき、多くの会員の方に参加いただきました。本当にありがとうございました。

これからも青年部会は新しい仲間の加入を推進するとともに、会員が一致団結して研鑽を積みながら次の節目の年に向かって進んで参りたいと存じます。会員各位も様々な活動に参加しながら貴重な経験をしてもらえば幸いです。

最後になりましたが今後とも福井法人会青年部会への変わらぬご支援とご協力を心からお願い申し上げるとともに、親会はじめ税務ご当局ならびに関係各位の皆様に心から感謝申しあげます。

会員の皆様方の日頃からの部会活動に対する御熱意と御尽力に対しまして、深く敬意を表します。

ところで、最近の税務を取り巻く環境は、消費税法の改正や社会保障・税番号制度の導入などにより大きく変化しております。私どもは、「こうした中で、国税庁の任務であります」適正かつ公平な課税と徴収の実現」を着実に果たすとともに、納税者の視点に立った質の高い行政サービスを行っていくことが重要であると考えております。

青年部会の皆様方におかれましては、引き続き税務行政に対する一層の御理解と御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、福井法人会青年部会の限りない御発展と、部会員の皆様方のますますの御健勝と御繁栄を心から祈念いたしますの御健勝と御繁栄を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

公益社団法人の青年部会として、色々な事業に参加するなど三十年間の経験を生かし、地に足がついた事業が展開されております。今後更なる会の発展を願うとともに、三十周年を機とし良き経営者を目指す団体として、経営幹部の一員として、自覚を忘れず互いの交流を図り、税務当局のご指導を仰ぎながらお互い切磋琢磨し、より良い法人会を目指し活動しようではありませんか。今後益々青年部会のご発展を御祈願申し上げ、お祝いの言葉と致します。

青年部会歴代会長ご紹介

初代	南部 務	ときめきウェディング(株)
二代	森下 佐幸	(株)ラアルモリシタ
三代	東田 孝三	東田建設(株)
四代	増田喜代治	(株)増田喜
五代	石橋 正人	アロック・サンワ(株)
六代	寺崎 敏治	福英梶包(株)
七代	中川 芳男	(株)福井製作所
八代	園井 康夫	園井ボーデー工業(株)
九代	青木完太郎	北陸紙業(株)
十代	岡崎 幸誠	(株)栄太樓
十一代	吉岡 正盛	吉岡幸(株)
十二代	山崎 正弘	山崎金属(株)
十三代	岩崎 新	(株)福井建材社
十四代	細田 真也	(株)ホソダSHC



福井法人会青年部会 創立三十周年記念講演会

「西川のりお言語道断」



平成二十六年十一月十七日(月)
十四時より福井法人会青年部「創立三十周年記念」・「税を考える週間」記念講演会がAOSSA八階(福井県県民ホール)にて開催されました。高村会長の挨拶に続き、西川のりお氏を講師に迎え、「西川のりお言語道断」を演題にして講演していただきました。

お弟子さん時代に逃げ出した際、知らない間に家族に助けてもらつたという話や師匠の偉大さ、家族のおもいやりの話から、政治の裏話まで幅広く面白く伝えて頂き、あつという間の一時間半でした。平日の昼の大変忙しい中、多くの方々が参加しておりまして、充実した一日となりました。

(見谷)



一乘谷朝倉氏遺跡の情報発信と今後の観光戦略

真価塾 part 23

平成二十六年七月二十二日(火)
エースイン福井において、講師に福
井市観光アドバイザーの安野敏彦
氏をお招きして真価塾が開催され
ました。

安野氏は、中学校まで福井で暮

らし高校から県外で過ごされ後に
全日空に入社されました。全日空
時は宣伝部長として活躍、最後の
職場では政治家など多くのVIP
の方々と接遇された中で西川福井
県知事と出会い、故郷への思いが馳



せるようになり福井へ戻り現職に
就かれたそうです。

一乗谷朝倉氏遺跡は、国の特別
史跡、特別名勝、遺跡出土品は重
要文化財という三つの指定を受け
ており、日本でも六カ所しかないと
のこと、是非これを全国に知れ渡
らせようと一乗谷朝倉氏遺跡をブ
ロマイクスする「一乗谷DISCOV
ERY PROJECT」をスター
トさせました。

当初、福井市の観光PRに使え
る予算は、二年でポスター一枚を作
る五百円しかなかったそうです。
しかし、「どうせ作るならばこれ以
上のものは出来ない程のものを作
ろう」と決め、このポスター作りに
は、全日空時代の人脈を駆使し、
日本を代表するような企業のCM



を手掛けるトップクリエーターが
破格で制作して下さったそうです。

出来上がったポスターは、東京
の地下鉄やJRの構内などに掲
示され、また数々の広告グランプ
リも受賞されました。年間CM大
賞を受賞した「某通信会社の大
のお父さんCM」は、市の広報活
動や偶然ではなく安野氏の人脈
と多大なご尽力の賜物です。

安野氏の今後の課題は、いかに
リビーターを増やしていくかです
が、観光地だからこそ本物の食、
他にはない宿泊施設(富裕層を対
象にした迎賓館的な高級施設)
の提供が重要だとのことです。そ
れには市民一人一人のおもてなし
の行動も必要となるとのことで
した。

(森下)

「お金ではなく、人の御縁で でっかく生きろ！」

福井県法人会青年部会連絡協議会 研修会



平成二十六年十月一日(水)、敦賀市プラザ萬象において、講師中村文昭氏をお迎えして「お金でなく、人のご縁ででっかく生きろ！」という演題で講演会が行われました。

中村氏は三重県多気郡大台町という自然豊かな所のご出身で幼少の頃は、天然のあゆやうなぎを探つて遊んでいたそうです。家に帰ると母親が「今日、どうやった?」と満面の笑みで迎えてくれ家族で食べたそうです。その後なんとなく高校に行き、なんとなく東京に出て行つたそうです。「食べるため、生活の為」に日中は肉体労働、夜は大手ドーナツチェーンでバイトをして過ごす中、偶然焼き鳥屋で隣合せた人物(十八歳で会社を興し、最初の月に百万円稼ぎ、事業を成功させるも、お金を自分にばかり使つてしまい足元をすくわれ倒産、一度地獄を見た方)に、「何のために東京に、何のためにいきているのか」など熱く語られ、体中のスイッチが入り、弟子入りを志願、師匠の商売(野菜の行商)を手伝い出したそうです。その中で色々教わり、「四つの鉄板ルール」1、返事は0.2秒!

- 2、頼まれ事は試されごと！
- 3、できない理由を言うな！
- 4、今できることをやる！

にたどり着いたそうです。

その後、行商で得た資金で師匠たちと飲食店を開店、師匠の勧めもあり、「二十二歳の時三重県で独立されて師匠から学んだ「相手の予測を上回る」の精神でお客様を徹底して喜ばせ、お客様がお客様を呼んでくれるおかげで大繁盛したそうです。講師の軽快なしゃべりで会場は、笑い声が絶えませんでしたが、時より目頭が熱くなり、すばらしい研修会でした。

この後、場所を観光ホテルに移し、県下の各青年部メンバーと交流、意見交換が行われました。

(森下)



毎年恒例！！

サマーフェスタ2014



平成二十六年八月八日(金)七時より毎年恒例のサマーフェスタが来々軒で開催されました。

高村会長の挨拶から始まり、大変活気に溢れ、会場は多いに盛り上がりました。また今年も大変多くのメンバーが集まり会員同志、普段見ることが出来ない笑顔もあふれ锐気を養えるとても楽しい会となりました。

(見谷)

毎年恒例！！

青年部会親睦ゴルフコンペ

平成二十六年十月十一日(土)フクイカントリークラブにおいて恒例の親睦ゴルフコンペが開催されました。今回は三組十一名で熱戦が繰り広げられました。

優勝は大瀧毅郎氏。43・42のグロス85、ネット72という安定したゴルフで、二年連続の優勝でした。ベスグロは三田村信夫氏。42・41の83でハイレベルな戦いを制しました。

和気藹々とした雰囲気の中での真剣勝負。次回はさらに多くの方の参加をお待ちしております。参加者の皆様本当にお疲れさまでした。

(大谷)



新入会員者紹介

(平成26年7月～平成26年12月入会)

■宝山 明伸 はうやま あきのぶ

(株)たからや商店
燃料店

代表取締役

福井市新田塚2・34・16
昭和46年5月8日

■山内 基史 やまうち もとふみ
(株)山内スプリング製作所
金属部品製造業

代表取締役

福井市成和2・406
昭和43年2月15日

福井ハウスマ株

園芸施設・土木建築設計
代表取締役
福井市大瀬町20・20・1
昭和47年5月30日

■山田 直樹 やまだ なおき
(五十音順) ● 氏名
● 法人名
● 住所
● 事業種
● 生年月日

（五十音順） ● 氏名
● 法人名
● 住所
● 事業種
● 生年月日

- | | |
|------------------|-----------------|
| ■優勝／大瀧 毅郎 | ■準優勝／牧野 洋之 |
| グロス 85 ネット 72・0 | グロス 91 ネット 74・0 |
| ■三位／高井 友博 | ■三位／高井 友博 |
| グロス 110 ネット 74・0 | グロス 91 ネット 74・0 |
| ■ベスグロ／三田村 信夫 | ■ベスグロ／三田村 信夫 |
| グロス 83 | グロス 83 |



表紙写真ロケ地／平成26年の完成を目指している
福井駅西口周辺地区



めざします 企業の繁栄と社会への貢献